

高千穂郷・椎葉山地域

世界農業遺産認定10周年記念シンポジウム

基調講演



世界が認めた高千穂郷・椎葉山地域の価値 ～変化の時代に見つめ直す、地域の本質～

阿部 健一氏

大学共同利用機関法人
人間文化研究機構総合地球環境学研究所 名誉教授
上廣環境日本学センター 客員教授

京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻修士課程修了。2015年に、国連食糧農業機関（FAO）の世界農業遺産科学助言グループの委員として、当地域における現地調査および審査を実施。認定後は世界農業遺産の普及啓発を目的に、阿部氏が中心となり、総合地球環境学研究所と当地域の5町村が主催するシンポジウムを、5年にわたり継続して開催した。

パネリスト



【高千穂町】花卉農家

濱山 幸波氏

宮崎市出身。宮崎県立農業大学校を卒業後、県内の農業生産法人に就職。数年間務めた後に、高千穂町内で農家民泊をしたことがきっかけで、高千穂町の人々や農業に魅力を感じ、2014年に単身で高千穂町に移住。現在は、花卉（主にランキュラス）、キュウリ、米などの複合経営を行っている。



【日之影町】一心園 代表

甲斐 鉄也氏

1970年、日之影町出身。日之影町の有機栽培のお茶農家。就農後は、農業、化学肥料等を使わない栽培にこだわり、2003年に有機JASの認証を受ける。野草、もみ殻、焼酎粕などの地域資源で堆肥を作るなど、環境に配慮した農業を行っている。釜炒り茶の他に、紅茶、ウロン茶なども生産、販売している。海外への輸出も増えている。



【五ヶ瀬町】特定非営利活動法人五ヶ瀬自然学校 理事長

杉田 英治氏

東京のグラフィックデザイン会社を経て1991年ワーキングホリデービザを取得しカナダへ。帰国後フリーのデザイナー、北海道のカヌーガイド会社経営を経て、2002年宮崎県五ヶ瀬町に移住。2004年の台風災害をきっかけに2005年3月特定非営利活動法人五ヶ瀬自然学校を設立。社会教育、地域づくり活動を行っている。



【諸塚村】諸塚村椎茸部会 部会長

小川 重好氏

県立高鍋農業高校卒業後、就農。椎茸・茶・水稲など、長年にわたり複合経営を実践。諸塚村椎茸部会長と釜の前茶工場の工場長を務め、地域の農林業を牽引している。本年度は椎茸の商談会および市場調査のため台湾へ出張。現地での経験を通じて海外展開に向けた産地の課題を洗い出し、需要の発掘に取り組んでいる。



【椎葉村】株式会社菓te-ri 代表取締役

椎葉 昌史氏

椎葉村にUターン後、村産の蕎麦を中心に提供する「よこい処いば屋」を経営し人気店となる。2019年に地元産素材を使用したお菓子店「菓te-ri」、2023年には「菓te-ri 延岡店」をオープン。2024年からは「地域と農業を未来に継承する」を目標に、県内酒造メーカーと協働し村産棚田米を原料とした日本酒づくりにチャレンジしている。

シンポジウムプログラム

13:15	記念式典	◆ 開会挨拶 ◆ 活動報告 ◆ 功労者表彰及び感謝状贈呈
14:40	研究報告	◆ 研究報告1 デジタル×リアルで解き明かす世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域の「山腹用水路」の特異性 発表生徒：宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 上埜五喜さん、坂本朋佳さん、椎葉梅嘉さん ◆ 研究報告2 持続可能な農林業のあり方を探る：高千穂郷・椎葉山地域における地域資源の再発見 講師：宮崎大学地域資源創成学部 教授 西和盛氏
	基調講演	◆ 演題：世界が認めた高千穂郷・椎葉山地域の価値 ～変化の時代に見つめ直す、地域の本質～ 講師：大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所 名誉教授 上廣環境日本学センター 客員教授 阿部 健一氏
16:05	パネル ディスカッション	◆ テーマ：山の暮らしから未来を展望する パネリスト：濱山幸波氏（高千穂町）、甲斐鉄也氏（日之影町）、杉田英治氏（五ヶ瀬町）、小川重好氏（諸塚村）、椎葉昌史氏（椎葉村）
	GIAHS ユース宣言	◆ GIAHS アカデミー代表生徒 宮崎県立高千穂高等学校、宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校
17:30	閉会	◆ 閉会挨拶
18:00	レセプション （懇親会）	◆ 神楽特別公演 五ヶ瀬町古戸野神社神楽保存会

総合司会 小谷あゆみ氏
フリーアナウンサー・農業ジャーナリスト